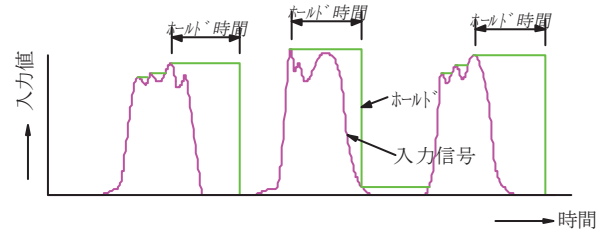


ピークホールド

ワークが間欠的に移動するような場合、ワークのピーク測定値をホールドします。ホールドをそのままにしておくと、次のワークの測定値が前回の測定値より低い場合に、測定値が更新されないためピーク値を検出し、測定値を読み込んだ後にホールドされた測定値をリセットする必要があります。ホールドのリセット方式には次のようなものがあります。

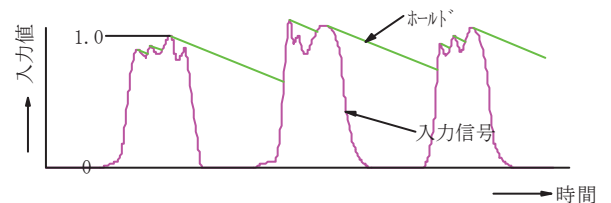
[時間リセット]

ピーク値を検知してから一定時間ピーク値をホールドします。リセット時に大きな測定値の低下が起こります。



[放電リセット]

ピーク値を検知してから一定の傾斜でレベルを低下させます。リセット時の大きな温度低下が起きないので比較的安定な信号となります。



[外部リセット]

外部タイミング信号のタイミングでリセットします。外部コンピュータ等によるピーク値の取り込みに適します。

